

Ⅵ 令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目（該当する分野、種目を選択してください。）

分野	音楽	種目	オーケストラ等
----	----	----	---------

申請区分（申請する区分を選択してください。）

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の有無（該当する方を選択してください。）

複数申請の有無	無
---------	---

複数の企画が採択された場合の実施体制（該当するものを選択してください。）

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。（グレーアウトされます。）

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

その他を選択した場合	
------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきざいだんほうじん にほんせんちゅりーこうきょうがくだん 公益財団法人 日本センチュリー交響楽団		
代表者職・氏名	理事長 桜井 博志		
制作団体所在地	〒 561-0885		
	大阪府豊中市岡町1-1 きたしん豊中ビル6F		
電話番号	06-6848-3333	FAX番号	08-6848-3345
ふりがな 公演団体名	にほんせんちゅりーこうきょうがくだん 日本センチュリー交響楽団		
代表者職・氏名	楽団長 望月 正樹		
公演団体所在地	〒 561-0873		
	大阪府豊中市服部緑地1-7		
制作団体 設立年月	1989年 5月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	理事長:桜井 博志 副理事長:望月 正樹 専務理事:小田 弦也 他 理事、評議員、監事	楽団員 2管10型(定員55名) 事務局員 17名 加入条件 楽団員はオーディションにより採用	
事務体制の担当	専任	本事業担当者名	事業部 西岡千博
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	総務・経理部長 武田嘉子

制作団体沿革	大阪府のオーケストラとして1989年に発足。府民への公募で『大阪センチュリー交響楽団』と命名される。2011年に大阪府から独立し、現在の名称である『日本センチュリー交響楽団』となる。2019年に創立30周年を迎えた。 ウリエル・セガルが名誉指揮者を、飯森範親が首席指揮者を、秋山和慶がミュージックアドバイザーを、久石譲が首席客演指揮者を務める。 ザ・シンフォニーホールで開催するシンフォニー定期演奏会、ハイドンの交響曲全曲演奏・録音プロジェクト「ハイドンマラソン」に加えて、パートナーオーケストラとして事業運営に携わる豊中市立文化芸術センターでの「豊中名曲シリーズ」と、大阪府下2拠点で定期的な演奏会を開催している。ジャンルを超えた様々な形態のコンサートにも積極的に取り組み、依頼公演、室内楽コンサート、学校公演等を合わせて年間200回を超える公演を行っている。 「優れた演奏により地域の力を発信する」「オーケストラによる感動と癒しを提供する」「優れた才能を発掘し次世代の育成に寄与する」「国際相互理解や平和に積極的に貢献する」の4つの理念に基づき、演奏を通して多くの人々の心に明るい夢が広がることを願い、新しい時代のオーケストラとして発展を目指し、活動している。			
学校等における公演実績	【Touch The Orchestra】 当団の練習場であるセンチュリー・オーケストラハウスにおいて、小学校高学年を対象に、体験型コンサートを2003年度より開催。延べ4万名の大阪府下の小学生が参加。 【豊中市との連携事業】 2018年度より豊中市との連携により、中学生舞台芸術体験事業『ホールでオーケストラ』(中学1年生対象、合同鑑賞会)を毎年開催、2021年度からは小学生を対象とした公演も新たに開催する。 【大阪市北区との連携事業】 大阪市北区役所事業として、区内中学校の吹奏楽部、音楽部への指導を行うと共に、中学校や小学校の合同鑑賞会を開催する。 その他、学校へ出向いての室内楽公演や青少年向けの公演を2021年度については10公演程度予定している。			
特別支援学校における公演実績	【特別支援学校コンサート】 大阪府内の特別支援学校の児童・生徒を対象に、完全バリアフリーのホール(国際障害者交流センター)にて、オーケストラコンサートを年1度開催している。2019年度より文化庁「障害者による文化芸術活動推進事業」に3年連続採択。 【支援学校アンサンブルコンサート】 大阪府内の支援学校に出向いてのアウトリーチ型の室内楽公演を年5公演開催している。2020年度より、上記、文化庁「障害者による文化芸術活動推進事業」の採択内容の一部として、オーケストラコンサートに出向くことが難しい学校や生徒を対象とした公演として、オーケストラコンサートとの一貫性をもって実施している。 以上の公演については、参加費を徴収しない招待型の公演として2004年度より毎年継続して開催しており、大阪府下の支援学校に通う児童生徒にとって、生のオーケストラに触れることのできる貴重な機会として、教員のみならず保護者の方からも大変好評をいただいている。			
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	無	
		申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	無	
		※公開資料有の場合URL		
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	
	Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料	有	
		※公開資料有の場合URL		
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	
		PW:		

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 日本センチュリー交響楽団 】

対象	○	小学生(低学年)	○	中学生		
	○	小学生(中学年)				
	○	小学生(高学年)				
企画名	日本センチュリー交響楽団の『見て・聴いて一緒に！』オーケストラ♪					
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	【小学校プログラム】 オープニング ビゼー：歌劇『カルメン』より 第1幕への前奏曲 楽器紹介コーナー(各楽器の説明と演奏) オーケストラと共演① 三村総撤編：手拍子協奏曲『Clip Beat Clap！2』 －休憩 15分－ サブライズファンファーレ 指揮者を体験してみよう（体験者2名） チャイコフスキー：バレエ組曲『くるみ割り人形』よりトレバック（抜粋） オーケストラで感じる大阪の色 徳山美奈子：大阪素描 より 祭 オーケストラと共演②(以下より1曲選択) 杉本竜一：ピリープ、村井邦彦：翼をください、菅野よう子：花は咲く、 平吉穀州：気球に乗ってどこまでも(以上合唱での共演) 和田薫：みんなでドレミ！（リコーダー、鍵盤ハーモニカ等の器楽で共演） コンサートのまとめ、迫力のオーケストラ チャイコフスキー：バレエ組曲『くるみ割り人形』より 花のワルツ アンコール 各校校歌 【中学校プログラム】 オープニング ビゼー：歌劇『カルメン』より 第1幕への前奏曲 楽器紹介コーナー(各楽器の説明と演奏) チャイコフスキー：弦楽セレナード ハ長調 第1楽章 より コンサート前半のまとめ、各楽器が大活躍！ オフエンバック：歌劇『天国と地獄』より 序曲 －休憩 15分－ オーケストラと共演(以下より1曲選択) ホルスト：吹奏楽のための第一組曲より行進曲、 真島敏夫編：宝島(以上吹奏楽部との共演) 村井邦彦：翼をください、八木澤教司：あすという日が(以上合唱との共演) 指揮者を体験してみよう（体験者2名） ブラームス：ハンガリー舞曲 第5番（抜粋） オーケストラで感じる大阪の色 徳山美奈子：大阪素描 より 祭 コンサートのまとめ、迫力のオーケストラ スメタナ：連作交響詩『わが祖国』より モルダウ(ブルタヴァ) アンコール 各校校歌					
著作権		制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる	取得済	(制作団体以外が所有する 事項が含まれる場合) 許諾状況
演目概要	子ども達の成長過程に合った公演内容とするために、小学校と中学校では異なるプログラムを用意し、それぞれより深く、オーケストラや音楽に親しむことができるように、そして、ワークショップとの繋がりがより濃いものとなるような構成としています。それぞれの作品は聴きやすい旋律を持ちながらも、異なる性格を持ち、その対比を感じ取ることによって、音楽に対する感性を働かせ、音楽の多様性を感じられるものを選択しています。 また、子ども達が参加や、共演をする場面はまとめず、しっかりと聴くプログラムと織り交ぜることによって、初めてオーケストラを聴く子ども達が集中力を切らさずに、オーケストラの魅力を存分に味わうことができるよう工夫して構成しています。 オーケストラと共に音楽を作る作品も盛り込むことで、自発的な活動を引き出し、オーケストラと児童生徒との双方向のコミュニケーションが取れることを目指します。また、鑑賞・参加することによって、日本だけでなく世界の音楽と文化との関わりを感じ取ることができる作品、人々に長く親しまれている作品に自然と触れることができ、そして、全身で音楽の魅力を体感することができるプログラムとしました。 オリジナルの手拍子協奏曲や楽団委嘱作品など、日本センチュリー交響楽団だからそのプログラムを積極的に取り入れ、子ども達とオーケストラとの一期一会の特別なコンサート、オーケストラを『見て・聴いて一緒に！』の3拍子を揃えたプログラムです。 【オーケストラの響きや迫力を楽しむ作品】ビゼー：歌劇『カルメン』より第1幕への前奏曲、チャイコフスキー：バレエ組曲『くるみ割り人形』より花のワルツ、スメタナ：連作交響詩『わが祖国』よりモルダウ(ブルタヴァ)、オフエンバック：歌劇『天国と地獄』より 序曲 【オーケストラと共に音楽を作り上げる作品】三村総撤編：手拍子協奏曲『Clip Beat Clap！2』(手拍子での共演)、杉本竜一：ピリープ 他(歌唱での共演)、ホルスト：吹奏楽のための第一組曲 他(吹奏楽との共演) 【日本の文化を体感・感じる作品】三村総撤編：手拍子協奏曲『Clip Beat Clap！2』(民謡、ソーラン節や揉み手の手拍子)、徳山美奈子：大阪素描より 祭 【オーケストラの仕組み、楽器への知識を深める】チャイコフスキー：弦楽セレナードハ長調第1楽章より、オフエンバック：歌劇『天国と地獄』より 序曲 他、楽器紹介					
演目選択理由	初めてオーケストラを聴く子ども達に、聴きやすいメロディーや要素を持った作品であること。子ども達の集中力が途切れない長さの作品であること。親しみやすさと芸術性を兼ね備えている作品であること。曲想やその変化など作品の特徴を感じ取りやすい作品であること。会場となる体育館で最大限の演奏効果を上げることのできる作品であること。音楽を多角的に体感できる作品であること。日本センチュリー交響楽団ならではの作品を盛り込むこと。そして、オーケストラの魅力が存分に伝わるものであること。以上の点は全ての曲目に共通した選択理由です。また、公演が進むについて、少しずつ曲の難易度が上がってゆき、子ども達の芸術鑑賞能力を、公演を通じて自然と高めることができるよう、選択・構成しています。 子供達と共演をする作品については、共に音楽を作り上げたという達成感だけでなく、楽しかった充実感や音楽の広がりの多彩さを感じることができる作品であることにも重点を置いて選択しています。また、授業などで取り上げていただきやすいもので、且つ、それぞれの学校の状況に合わせて選択をしていただけるよう、幅広い内容を選択しています。					
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	【指揮者を体験してみよう】学校代表の児童・生徒がオーケストラで唯一楽器を持たない“指揮者”を体験します。 【手拍子協奏曲『Clip Beat Clap! 2』(小学校プログラム)】日本センチュリー交響楽団オリジナルの手拍子協奏曲。日本の民謡やラテン音楽など様々なリズムパターンをオーケストラと一緒に体験します。 【オーケストラの伴奏で歌おう】普段はピアノやCDの伴奏で歌う曲をオーケストラの伴奏で歌います。 【器楽での共演】小学校はリコーダーや鍵盤ハーモニカ、中学校は吹奏楽部との共演を行います(歌での共演との選択制) 【校歌のプレゼント】コンサートの締めくくり、アンコールにみなさんへプレゼント！慣れ親しんだみなさんの校歌を、オーケストラ版の演奏をします。公演の記念として、録音をしたCDを楽譜と併せてプレゼントします。 いずれも、オーケストラと児童生徒や教員のみならず、会場にいる全員でコンサートを作り上げるという体験をしていただくことで、自発的な活動を引き出し、コンサート中にも双方向のコミュニケーションが取れることを目指しています。また、鑑賞と参加の両方をコンサート中に行うことによって、日本だけでなく世界の音楽と文化とのかわりを感じ取りやすく、そして人々に長く親しまれている作品に自然と触れることができ、また、全身で音楽の魅力を体感できるようになることを目指しています。					
出演者	指揮者：栗辻 聡 他(調整中) 管弦楽：日本センチュリー交響楽団(2管10型)					
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者： 59 名 スタッフ： 6 名 合 計： 65 名		機材等 運搬方法	積載量： 4 t 車 長： 8 m 台 数： 2 台		

実施に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の目 安	前日仕込み	無	会場設営の所要時間		2	時間程度
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	9時	9時～12時	13時30分～15時	15分	15時～16時	16時15分
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。						
児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ		～1000名(体育館のサイズによる)			
	本公演		～1000名(体育館のサイズによる)			
ワークショップ 実施形態及び内容	小学校プログラム:コンサートの雰囲気慣れ、音楽や楽器、オーケストラに興味をもって本公演に望めるようになることを目標に実施します。コンサートの楽しみ方、拍手のマナーやタイミングなどを伝え、コンサートの雰囲気に慣れ、全身で音楽を吸収できる状態を整えます。共演曲の指導も行います。 中学校プログラム:吹奏楽部との共演を選択した学校については技術指導を中心としたワークショップを行います。セクションでの指導後、合奏での指導を行い、講師によるミニコンサートも行います。吹奏楽部との共演以外を選択された学校には小学校公演の内容に加えて音楽史や楽器の歴史を交えて、自ら調べ学習する意欲を高められる内容とします。 上記、いずれの場合も、演奏者4名とスタッフ2名が学校へお伺いいたします。					
ワークショップ 実施形態の意図	音楽の授業とは違う新たなアプローチによって、音楽への更なる興味や理解を促すことで、本公演をより効果的に実施できるようにすることが、このワークショップの大きな意義であると考えます。 本公演のプログラムを積極的に楽しめるよう、本公演との関係性の深い内容でワークショップを実施し、本公演への期待感を高めます。文化芸術への理解を深め、鑑賞能力を高めるだけでなく、文化芸術に自ら積極的に興味を持って参加する意識を高めます。また、他者と協働する場面(リズムアンサンブルなど)を通じ、コンサートへの積極的な参加をすることによって、学校生活や日常の様々な場面での積極性やこれから必要となる共生社会への参画意識が高まることに繋がることを期待しています。					
特別支援学校での 実施における工夫点	演奏会場、演奏時間、曲目、開演時間の設定など、可能な限り学校側の要望にお応えします。コンサートの司会進行のスピードをゆっくりと行う。視覚支援学校の場合は、楽器紹介の説明などで楽器のサイズや演奏の姿勢などの状況描写を司会内容に盛り込む。視覚支援学校や手話通訳を立てる必要がある場合は進行台本の事前のお渡しをする。事前に音が大きくなる箇所をお伝えする。会場のセッティングを工夫し、車椅子やバギーで参加する児童生徒も参加しやすい環境を作る等、様々なシチュエーションを想定した公演制作を行います。担当の先生との綿密な打合せを行うことによって、学校・児童生徒の状況それぞれに応じた環境づくりをし、コンサートの実施をいたします。					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

令和 4 年度

文化芸術による子供育成総合事業 - 巡回公演事業 -



日本センチュリー交響楽団



の 見て、聴いて、一緒に！オーケストラ♪

小学校公演プログラム

オープニング

Bizet：歌劇『カルメン』より第1幕への前奏曲

楽器紹介コーナー

(各楽器の説明と演奏)

オーケストラとの共演①

三村総撤編：Clip Beat Clap！2

指揮者を体験してみよう

Tchaikovsky：バレエ組曲『くるみ割り人形』より
トレパック(抜粋)

オーケストラで感じる大阪の色

徳山未奈子：大阪素描より祭

オーケストラと共演②(以下より1曲選択)

- ・杉本竜一：ビリーブ・村井邦彦：翼をください
- ・菅野ようこ：花は咲く
- ・平吉毅州：気球に乗ってどこまでも
- ・和田薫：みんなでドレミ！

コンサートのまとめ、迫力のオーケストラ

Tchaikovsky：バレエ組曲『くるみ割り人形』より
花のワルツ

アンコール 各校校歌

中学校プログラム

オープニング

Bizet：歌劇『カルメン』より第1幕への前奏曲

楽器紹介コーナー

(各楽器の説明と演奏)

Tchaikovsky：弦楽セレナードハ長調 第1楽章より

コンサート前半のまとめ、各楽器が大活躍！

Offenbach：歌劇『天国と地獄』より序曲

オーケストラと共演(以下より1曲選択)

- ・ホルスト：吹奏楽のための第1組曲よりマーチ
- ・真島敏夫編：宝島
- ・村井邦彦：翼をください
- ・八木澤教司：あすという日が

指揮者を体験してみよう

Brahms：ハンガリー舞曲第5番(抜粋)

オーケストラで感じる大阪の色

徳山未奈子：大阪素描より祭

コンサートのまとめ、迫力のオーケストラ

Smetana：連作交響詩『我が祖国』より
モルダウ(ブルタヴァ)

アンコール 各校校歌

公演の様子 - 過去の公演から -

ワークショップの様子

事前のワークショップでは、音楽やそれぞれの楽器の成り立ちなど普段の授業とは違った視点から、オーケストラのことや音楽のことを学んでいただきます。声やリズムを使って、オーケストラが普段どのようにしてアンサンブルを作り出しているかということも体験していただき、そして、コンサートのマナーなども伝えながら、コンサートの雰囲気慣れ、本公演への期待度を高めていきます。中学校公演で、吹奏楽部との共演を希望される学校へは、メンバーによる、共演曲の事前指導をワークショップとします。セクションでの指導後、合奏、そして最後には講師によるミニコンサートも行います。

いずれの場合も、演奏者4名とスタッフ2名が参ります。



本公演の様子

参加型のプログラムを織り交ぜながら構成することで、初めてオーケストラを聴く児童生徒のみなさんが飽きることなく楽しめるよう、コンサートを進めて参ります。

楽団オリジナルの手拍子協奏曲(小学校プログラム)、歌や器楽での共演、指揮者体験コーナーなど盛沢山な90分です。

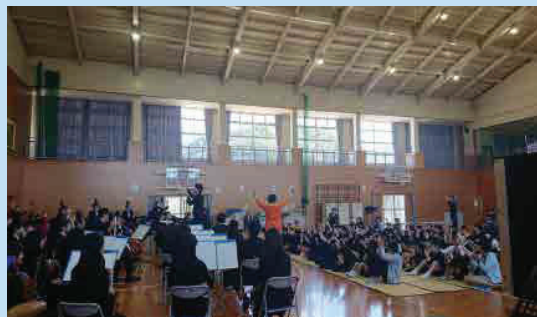
普段は体育の授業や朝礼などで使用している体育館が、この日は特別！コンサートホールに変わります。

総勢60名近い大迫力のオーケストラがみなさんの目の前に！

吹奏楽部との共演は、当日、オーケストラとのリハーサルも行います。

タイトルの通り『見て、聴いて、一緒に！』オーケストラを体感していただける、そんなコンサートをお届けいたします。

児童生徒のみなさんだけでなく、教員のみなさま、そして、保護者の方や地域の方、体育館にいる全ての人が1つとなって、コンサートを作り上げます。



【令和4年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	G91	分野	音楽	種目	オーケストラ等	ブロック	G	区分	A区分
公演団体名	日本センチュリー交響楽団				制作団体名	公益財団法人 日本センチュリー交響楽団			

① 会場条件等についての確認

項目	必要条件等							応相談	
控室について	必要数 *	4室	条件	指揮者1室、コンサートマスター1室、男性、女性用の大部屋各1室。着替えを行うためカーテンがある部屋を希望いたします。				不可	
搬入について	来校する車両の大きさと台数 *			4tトラック	1台	大型バス	2台	可	
	上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細			学校周辺の道路状況により4tトラックの進入ができない場合は、4tトラックを2tへ積み替えることが可能。					
	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			4tトラック					
	搬入車両の横づけの要否 *			要				可	
	横づけができない場合の搬入可能距離 *			10m以内				不可	
	搬入経路の最低条件			・できる限り階段のない経路が望ましい。 ・屋根のある経路が望ましい。				可	
	理由			・ひな壇等舞台大道具の搬入をするため ・雨天の場合、楽器が濡れないようにするため (いずれも対応について相談可能です)					
	設置階の制限 *			問わないが、1階が望ましい					
	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.8m	高さ	2m	不可		
WSIについて	参加可能人数		1000名程度まで(体育館のサイズによる)					可	
	学年の指定の有無 *	なし	指定学年 *	小学生	中学生	可			
	所要時間の目安 単位:分		90分程度					可	
本公演について	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。					
	鑑賞可能人数			1000名程度まで(体育館のサイズによる)					可
	舞台設置場所 *			ステージ上・フロアの両方				不可	
	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	15m	奥行	9m	高さ	なし	不可
	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保 *			要				不可
		舞台袖スペースの条件 *			袖に荷物が無い状態				可
		緞帳 *	不要		バトン *	不要		—	
	遮光(暗幕等)の要否 *			不要	理由			—	
	ピアノの調律・移動の要否 (調律費・移動費は経費対象外です)	指定位置へのピアノの移動 *		不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。				—
		ピアノの事前調律 *		不要				—	
	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可				—
	公演に必要な電源容量			不要	※主幹電源の必要容量				—
	その他特記事項							応相談	

会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	1.8m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		10m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

